

オゾン層保護大賞「環境庁長官賞」受賞！

オゾン層保護対策推進月間初日の平成10年9月1日、東京・虎ノ門パストラルにおいて、「第1回オゾン層保護大賞贈賞式」がとり行われました。

これは、日刊工業新聞社の主催、通商産業省及び環境庁の後援により、オゾン層保護法制定10周年を記念して創設されたものです。

オゾン層保護法制定以来、オゾン層保護対策に貢献してきた産業界その他団体、企業、個人を表彰するもので、栄えある環境庁長官賞を兵庫県フロン回収・処理推進協議会が受賞いたしました。

これは、全国に先駆けていち早く回収フロン処理システムを運営し、また、阪神・淡路大震災において被災地域から冷蔵庫、エアコンなどのフロン回収を積極的に行ったことが評価されたものです。

当日は会長である兵庫県知事に代わり、常務理事である前田環境局長が出席し、受賞と当推進協議会の活動内容を報告しました。

これもひとえに会員の皆様のご理解とご協力があったこととです。会員の皆様、どうもありがとうございました。

これからもオゾン層保護に向けて、全国の範となるよう、積極的にフロン回収を推進していきたいと考えておりますので、会員の皆様には今後ともご理解・ご協力をお願いします。

第1回オゾン層保護大賞 受賞者一覧

【通商産業大臣賞】	セイコーエプソン株式会社 「洗浄現場でいち早くオゾン層破壊物質を全廃」
【環境庁長官賞】	兵庫県フロン回収・処理推進協議会 「回収フロン処理システムの運営と被災地域からのフロン回収」
【優 秀 賞】	松下電器産業株式会社 エアコン社 「新冷媒採用エアコンの開発と工場の脱フロン化」
	旭硝子株式会社 「アサヒクリンAK-225の開発」
	株式会社中島自動車電装 「効率的な冷媒フロン回収機の開発」
【審査委員会特別賞】	オゾン層保護対策産業協議会 「業界横断的な団体としての活動」
	Stephen O.Andersen博士 「日本のオゾン層保護対策に対する貢献」

フロン回収装置 & ボンベ リース情報

1. フロン回収装置

(1) 回収装置リース状況 (平成10年10月20日現在)

リース先	リース台数	うち据置型	うち車載型	備 考
自動車解体処理事業者	12台	12台	0台	
冷凍空調工事業者	8台	8台	0台	
廃棄物処理業者	20台	18台	2台	
計	40台	38台	2台	

(2) リース可能回収装置

種 類	対象フロン	台数	リース料金	特 記 事 項
車 載 型 (中島自動車電装)	フロン12専用	2台	21,200円/月 (税別)	エンジン駆動のため電源不要。 リース時に点検の必要有り。
据 置 型 (中島自動車電装)	フロン12、22	2台	3,700円/月(税別)	電気冷蔵庫又は家庭用エアコンからの回収に限る。 新品。

リース料金には、修理、メンテナンス費用は含みません(使用者負担になります)。

車載型のリース料金には、保険、税金、定期点検料を含みます。

リースされた回収装置の搬送費用は、リース会員の負担となります。

リース期間はお申込みから平成11年3月末日までとなります。平成11年度以降もリース希望の場合は継続申請することができます。

車載型については、しばらく使っていなかったため、リース時には点検する必要がある(費用は協議会が負担)、申込後、即使用できるとは限りませんのでご注意ください。据置型は新品です。

(3) リースに関する注意事項

- ア 回収装置のリースを受けた場合は、確実にフロン回収を行い、回収したフロンは適正に破壊処理(やむを得ない場合は再生処理でも可)を行ってください。フロンの破壊処理は、必ず、当推進協議会に依頼していただくようお願いします。どうしても再生処理をされる場合は、再生処理実施事業所の証明(コピーでも可)を提出していただく場合があります。
- イ 回収装置のリースを受けた場合、リース期間終了の1ヶ月前までに、実績報告をしていただく必要があります。様式については、事前にこちらから送付いたします。なお、実績報告を提出しなかった場合、または、実績がなかった場合は、次年度以降に継続して申し込むことはできませんので、ご注意ください。
- ウ 回収装置のリース期間終了後は、その回収装置を協議会が指定する場所へお送りください。料金はリース会員の負担となります。また、返却後1ヶ月以内に異常、故障等が発見された場合は、修理等の費用は今まで使用していたリース会員に負担をお願いします。

2. フロン回収用ボンベ

(1) ボンベリースおよび在庫状況 (平成10年10月20日現在)

区分	回収装置メーカー	容量	フロン名	リース累計	在庫本数	備考
専用	中島自動車電装	20kg	12	44本	0本	回収装置の専用ボンベ
	中島自動車電装	20kg	22	18本	1本	
	ジャテック	20kg	12	5本	0本	
	マツダ産業	20kg	12	0本	3本	
	日立オートシス	10kg	12	3本	0本	
	テムズ	20kg	12	3本	0本	
	トキメック	20kg	12	3本	0本	
汎用		10kg	22	1本	1本	サイフォン付き、2口ボンベ(一般型)
		20kg	12	134本	40本	
		20kg	22	67本	36本	
		20kg	502	5本	20本	
計				280本	101本	

汎用ボンベとは、一般にガスの売買等で使われているボンベのことで、お持ちの回収装置には適合しません。リースした汎用ボンベが回収装置に接続できなかった場合は、取引のある高圧ガス取扱業者にご相談ください。

(2) リース料金

ア 20kgボンベ 月額：350円(消費税別)

イ 10kgボンベ 月額：300円(消費税別)

リース料金にはリース先へ搬送する費用は含まれておりません。別途送料が必要です。

リース期間はお申込みから平成11年3月末日まで利用できます。平成11年度以降もリース希望の場合は継続申請することができます。

(3) リース限度本数 1会員につき15本まで

しばらくリース用ボンベが不足しておりましたが、平成10年9月末に耐圧検査を終えたボンベが返ってきましたので、10月20日現在、総数で101本のボンベがリース可能です。

ただし、各回収装置専用のボンベはほとんど残っておりません。

平成10年度は予想以上にボンベリースの申込があり、リースできなかった会員の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。

今後は、できるだけたくさんの会員の皆様へボンベを利用していただけるよう、会員へリースするボンベの本数を「最大15本」と制限させていただきます。

すでに15本を超えてリースを受けている会員の方が、リース期間を更新(継続リース)する場合、更新できるボンベは15本以内となりますのでご注意ください。

また、専用ボンベの購入につきましては、10年度予算に余裕があれば年度内に、遅くとも11年度には何本か購入するよう検討させていただきます。

リース期間満了によるボンベの返却についての注意事項

1. リース期間満了のボンベは、下記センターへ空の状態を送付してください。送料はリース会員がご負担願います。

兵庫県高圧ガス協同組合容器管理センター 担当：河合
〒675-2332 加西市鎮岩町699-10 TEL及びFAX：0790-46-0063

2. 引き続きリースを希望する場合は、新たに申込書にご記入の上、協議会事務局まで速やかに提出願います。ただし、容器検査期限の関係で継続リースできない場合があります。
この場合、15本を超えなければ、別のボンベをリースしていただくことは可能です。
3. リースしたボンベに、リース会員の名称、連絡先等をマジックで書いている場合は、返却時には必ず名称等を消してから返却していただくようお願いします。

オゾン層保護セミナー 開催！

去る平成10年9月25日、兵庫県民会館11階ホールにおいて「オゾン層保護セミナー」が開催されました。

今年も昨年に引き続き、兵庫県の主催で実施され、当推進協議会は協賛として参加しました。

今回のセミナーでは、各業界で構築されつつあるフロン回収・処理システムにスポットを当て、主に関係事業者を対象に実施しましたが、その他にも多くの方に参加していただきました。

多数のご出席誠にありがとうございました。

< オゾン層保護セミナー概要 >

1. 日時 平成10年9月25日(金) 13:30~16:00
2. 場所 兵庫県民会館 11階ホール(神戸市中央区下山手通4-16-3)
3. 出席者 206名
4. 主催 兵庫県
5. 協賛 兵庫県フロン回収・処理推進協議会
6. 後援 社団法人日本自動車工業会、近畿冷凍空調工業会、兵庫県大気環境保全連絡協議会
7. 内容

(1) 講演「フロン回収への取組」及び技術講習

講師：中小企業事業団 オゾン層保護対応指導員 宇津木浩一氏

講師自らのフロン回収を始めた動機、フロン回収の難しさ、11市町村とフロン回収の委託契約を結ぶようになった経緯等、講師自身のフロン回収の取組に対する体験談をもとに、現在のオゾン層の状況等フロン回収の必要性について講演していただいた。

また、OHPにより、具体的な冷蔵庫のフロン回収方法について講習していただいた。

(2) 事例発表「フロン回収・処理システムの構築と稼働」

1. 発表者：社団法人日本自動車工業会 業務部長 小美野鉄郎 氏
資料にそって、自動車工業会の処理システムができた経緯、システムの内容、兵庫県における実績（1ヶ月間）等について発表していただいた。
2. 発表者：近畿冷凍空調工業会 専務理事 大畑晃一 氏
資料にそって、冷凍空調工業会の処理システムを作り上げる経緯、予定しているシステムの内容等について発表していただいた。
3. 発表者：兵庫県フロン回収・処理推進協議会 事務局長 中嶋國勝 氏（兵庫県生活文化部環境局大気課長）
資料にそって、推進協議会の取組の経緯、新しいシステムの内容等について発表していただいた。
4. まとめ
今回の事例をよく検討し、一番適したシステムに登録して、適正にフロン回収・処理を行う。
また、各業界は、独自でシステムを運営するだけでなく、実績など情報を自治体にも報告することで、オゾン層保護に対する各種施策に反映させる。

また、質疑応答では、当推進協議会のボンベリースについて、「リースできるボンベがないと聞いているが、現状はどうなっているのか」との質問がありました。会員の皆様も気になると思いますので、この紙上でお答えします。

平成10年度は、平成9年度に比べ、予想以上にリース希望があり、とても追いつかない状態でした。セミナー開催時点で、すでに300本以上リースしており、ほとんど在庫がありません。

しかし、9月末に、耐圧検査を終えたボンベが約80本戻ってきましたので、10月現在、リースは可能です。詳しくは4ページの「リース情報（ボンベ）」をご覧ください。

フロン回収状況実態把握調査にご協力を

毎年、兵庫県の委託で行っています「フロン回収状況実態把握調査」ですが、平成10年度からは協議会に参加されている各団体にご協力いただき実施します。

各団体に調査票の配布をお願いしておりますので、もし、お手元に調査票が届きましたら、ご回答をよろしく願います。

「フロン回収事業者名簿」掲載希望会員募集

当協議会会員のうち、一般事業者または消費者に対し、有償でフロン回収をしてくれる事業者の名簿である「フロン回収事業者名簿」に、新たに掲載を希望される会員の方がいらっしゃるようです。希望者が増えれば第5版を作成しますので、希望される会員の方は下記の項目について記入していただき、事務局へFAXにてご連絡していただくようお願いいたします。

「フロン回収事業者名簿」掲載希望者用記入項目

1. 事業者名	
2. 所在地	
3. TELおよびFAX	
4. 担当者氏名	
5. 業種	(冷凍空調設備工事、廃棄冷蔵庫・家庭用エアコン処分、カーエアコン、その他)
6. 対象機器	(冷蔵庫、自動販売機、家庭用エアコン、業務用冷凍冷蔵機器、大型空調機器、カーエアコン、その他)
7. フロンの種類	(11、12、22、502、その他)

選択肢があるものについては、該当するものすべてに を付けてください。

事務局だより

回収フロン処理システムを変更してから3ヶ月が経ちましたが、会員の皆様には如何でしょうか。

現在、大きなトラブルもなく、順調に破壊依頼量も増えております。

もともと、ポンペを依頼に出してから3週間は覚悟していただいておりますが、現状は2週間程度でポンペが手元に返ってきているようです。今までは、3ヶ月以上もかかってしまい、皆様には大変ご迷惑をおかけしました。

また、今回の新システムからは、大幅に事務を見直し、依頼者全員に破壊証明書を発行しております。

県も、委託契約をする際には、必ず破壊証明をとるよう指導しておりますので、今後は、他のシステムをご利用される場合でも、破壊証明書を受け取られることをお勧めします。

兵庫県フロン回収・処理推進協議会

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5-10-1 (兵庫県生活文化部環境局大気課内)
TEL (078) 362-3284 FAX (078) 362-3966